

「2021年度の根室市予算編成等に関する要望書」提出についての報告

実施日：2021年1月19日（火） 10：10～10：30頃

場 所：根室市役所 市長室

要請者：日本共産党根室市委員会 委員長 橋本 竜一  
日本共産党根室市議会議員団 団 長 鈴木 一彦

対応者：根室市長 石垣 雅敏 氏  
根室市副市長 竹本 勝哉 氏  
総合政策室 室長 佐藤 健 氏

※主な要請内容

（橋本あいさつ）

昨年はコロナへの対応に苦慮した年だったが、市も様々な対策を迅速に進めてきたと思う。今年も一定の期間は、このような状況が続くことが見込まれる。引き続き足元の実態を分析しながら、細やかな対策を実施して頂きたい。

（鈴木から）

大項目1 領土問題について

●新政権となったが、少しでも前に進むように願っている。四島交流事業の再開にあたって高齢の方の参加が多いことから、エトピリカ船内における感染対策が国の予算で計上されているが、訪問時に四島内でも万全な対策を実施するよう、国に求めて頂きたい。

大項目2 産業問題について

●不漁への対応として、大学等の研究者と漁業者や漁協等との協議の場の設置など、いろいろな可能性を含め、大きな視点から対応して頂きたい。

大項目3 中小企業支援…について

●市のコロナ対策本部会議でも示されているが、新型コロナの影響で厳しい状況にある事業者へのさらなる支援を検討する必要がある。

大項目4 行財政運営について

●全国的にはコロナ禍で女性の自殺割合も高まっているとの報道がある。何よりも人権を大切にするという観点から、ジェンダー平等社会の実現にむけて、市行政としてもしっかりと取り組んでいただきたい。

（橋本から）

大項目5 医療…について

●新型コロナウイルスワクチン接種は、昨日の市の対策本部会議でも対策が示されたところ。経験したことの無い取り組みであり、様々なトラブルも生じるかも知れないが、それらの事態に十分に対応できるだけの体制強化を図って頂きたい。

どのような形で予防接種を実施するのか、医療機関側も疑問や不安など抱えているだろうし、また仮に集団接種の会場を設置するとしても、他地域では医療従事者の確保に苦慮していると報道されていた。あらためて万全の体制で取り組んでいただきたい。

●「ふるさと遊びの広場」は今年中の完成となるが、その時点でもコロナ流行が続いていれば、感染対策のためにさらなる人員配置増や消毒等の徹底など、当初の想定を超えた対策が必要となってくる。対応を検討してほしい。

## 大項目 6 教育について

●老朽化した学校施設の補修の予算について、今年度予算では例年より増額されたところ。旧西高に移転した柏陵中学校の校舎も含め、各学校で未だ修繕が必要な個所が多くあると聞く。引き続き財政としても積極的な予算措置をお願いしたい。

●図書館は市公共施設等総合管理計画では大規模改修の予定時期。ただ教育委員会が所管する施設の多くが老朽化しており、あらためて市長部局も含めて、まちづくりの全体的な構想の中で、それぞれの施設の配置のあり方について、将来展望を見据えた検討していただきたい。

(鈴木から)

## 大項目 7 防災について

●避難所の整備では感染症対策について、これまでもパーティションの配備など対策を進めてきたところだが、どこまで実施すれば十分ということとは言えない課題であり、引き続きの対策をお願いしたい。

## 大項目 8 エネルギー問題について

●ゼロカーボンシティについて、市としての率先した対応を検討することが必要だ。

その後、主に新型コロナへの対応について市長らと懇談しました。

市長は、「年明けから、多い時で日 33 件の検査が行われたが、ようやく落ち着いてきた。ピーク時には 6 名入院で、今は 2 名だが、院内感染の危険性等を考えると一人でも安心出来ず、緊張感の中で勤務する医療従事者には本当に頭が下がる。

医療・福祉等の従事者の PCR 検査を 1 月 25 日の緊急議会で提案する予定だったが前倒しで実施し、すでに 700 件以上検査を受けた。検査は 3 か月実施する予定だが、政府でも実施するのではないか。

市内の飲食店からは悲鳴のような声が上がっている。根室市では正月の売り上げが大きい時期に感染があり、様々な噂が広がった影響など含めてダメージが大きい。どのように事業者を支えるのか考えなければならない。また国や北海道には、持続化給付金のような制度を再度実施してほしいと思う。」などと話されていました。